

社会福祉法人 下市町社会福祉協議会 令和4年度事業報告書

法人運営部門

●第1回理事会

月 日	実施場所	議 案
6月13日	下市町交流センター	議第1号 令和3年度社協事業報告・会計決算報告並びに業務及び会計監査報告について 議第2号 評議員の退任に伴う評議員(補欠)候補者の推薦について 議第3号 評議員選任解任委員会の開催日及び議案内容について 議第4号 定時評議員会の招集日及び議案内容について 議第5号 職務執行状況の報告について その他 共同募金関係

以上、すべての議案について慎重審議の結果、承認された。

●定時評議員会

6月27日	下市町交流センター	議第1号 令和3年度社協事業報告・会計決算報告並びに業務及び会計監査報告について 議第2号 退任に伴う理事の選任について 議第3号 令和4年度社会福祉法人下市町社会福祉協議会社会福祉充実計画の承認について
-------	-----------	--

以上、すべての議案について慎重審議の結果、承認された。

●第2回理事会

3月14日	下市町交流センター	議第1号 令和5年度社協事業計画(案)並びに資金収支予算書(案)について 議第2号 評議員の退任に伴う評議員(補欠)候補者の推薦について 議第3号 評議員選任解任委員会の開催日及び議案内容について 議第4号 評議員会の招集日及び議案内容について 議第5号 任期満了に伴う第三者委員の選考について 議第6号 職務執行状況の報告について その他 共同募金関係
-------	-----------	---

以上、すべての議案について慎重審議の結果、承認された。

●第2回評議員会

3月29日	下市町交流センター	議第1号 令和5年度社協事業計画(案)並びに資金収支予算書(案)について 議第2号 理事の欠員及び退任に伴う理事(補欠)の選任について
-------	-----------	--

以上、すべての議案について慎重審議の結果、承認された。

地域福祉部門

●共同募金事業

募金への理解を深め、民生委員、区長等の協力を得て広く住民に周知し募金活動を推進した。

月 日	実施場所	実施内容
10月～12月	町内全域	・一般共同募金(赤い羽根募金) 568,000円(前年比 +900円) (内、自動販売機30,060円含む) 区長総代様依頼、職域(役場役職員、社協役職員、行政相談員、民生児童委員、教育委員、人権擁護委員、あきつボランティア、大紀、オーカワ、前忠、THC)、学校(小・中学校)、窓口(役場、下市温泉、社協、エーコープ、ならコープ、金融機関他) ・歳末募金(歳末たすけあい募金) 592,000円(前年比 +159,000円) (クリスマスチャリティコンサート募金144,725円含む)

●共同募金地域福祉配分事業

一般共同募金配分金事業(主な配分内容)

- ・広報誌「夢ふうせん」の発行
- ・高齢者ふれあいいきいきサロン助成
- ・やすらぎ箱配布(80歳以上一人暮らしに対し、不測の事態に備え緊急連絡先等を記入した箱を民生委員を通じ配布。)
- ・子育て支援(子育てサロン及び子育てサークルでんでん虫への助成及び支援)
- ・福祉教育(小・中学校福祉学習支援)

歳末たすけあい募金配分金事業(主な配分内容)

- ・歳末たすけあい見舞金 (一人暮らし高齢者 162名配布)
- ・高齢者ふれあいいきいきサロン助成
- ・障害者地域生活支援(下市町肢体不自由児者父母の会への助成及び支援)
- ・災害対策支援(こども園へ防災ずきん配布 11枚)

●学校等への福祉教育の推進

町内小学校や中学校等において福祉教育(手話教室・車いす体験・高齢者、障害者疑似体験)を行い、福祉の理解と関心を深め、思いやりとやさしさを養う為実施。

月 日	実施場所	実施内容
11月10日	下市中学校	聴覚障害及び手話の学習(中学校1学年27名)
11月10日	下市中学校	高齢者疑似体験及び車いす体験(中学校1学年27名)
12月15日	下市小学校	高齢者・障害者の理解と車いす体験(小学校4学年21名)

●ふれあいいきいきサロン支援

住民同士が集いつながり、閉じこもりや心身機能低下、要介護状態への進行の予防などにもつながっていく住民主体に取り組まれているサロン活動を費用助成や活動支援など側面から支援行う。

随時	町内30カ所	活動助成及び保険加入支援 活動に関する相談・支援及びレクリエーション用具の貸し出し いきいきサロン連絡会の開催
----	--------	---

●心配ごと相談所

毎月第1・3木曜日に相談日を設け、広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、相談を行い地域住民の福祉の増進を図る事を目的に心配ごと相談所を開設。

月 日	実施場所	実施内容
第1・3木曜日	下市町交流センター	行政相談員、人権擁護委員、民生児童委員で構成

●車いすの貸出

一時的に車いすを必要とする住民(原則介護保険対象者除く)に無償で車いすの貸し出し行う。

随時	町内全域	貸出数 車椅子貸出対象者12名
----	------	-----------------

●日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない高齢者や障害者等の福祉サービスの利用手続きや金銭管理等の援助を行う。

随時	町内全域	利用者 5名(前年度比+-0名)
----	------	------------------

●フードレスキュー事業

様々な生活上の課題を抱え、今日食べる物に事欠く方の緊急時の支援として食料支援行う。

随時	町内全域	フードレスキュー利用者 2名(前年度比+2名)
----	------	-------------------------

●生活福祉資金貸付

低所得世帯や要援護世帯の福祉増進の為、県社協からの委託により生活福祉資金貸付事業を実施した。

令和2年度当初より、「新型コロナ特例貸付」が創設され、コロナの影響により収入が減少し生活維持が困難な世帯に対する貸付の相談対応を行う。(特例貸付受付9/30をもって終了)

随時	町内全域	令和4年度 3/31時点 借受人39名(前年比-3名) 内、コロナ特例貸付33名
----	------	---

●下市町善意銀行の運営

広く善意の寄付を受け、社会福祉を目的とする事業に有効活用することで地域福祉の増進を図る善意銀行の窓口業務及び事務全般を行う。

随時	下市町交流センター	預託件数 49件 1,517,000円(前年比 +2件 +239,570円)
----	-----------	--

●福祉団体事務局又は運営支援

団体の事務局又は活動支援行い活動推進に協力行う。

随時	下市町交流センター	下市町民生児童委員協議会、吉野郡民生児童委員連合会、 下市町老人クラブ連合会、下市町身体障害者福祉協会、 下市町遺族会、下市町英霊にこたえる会、白菊会、 肢体不自由児者父母の会、あきつボランティアグループ、更生保護女性会
----	-----------	---

●高齢者等の食事支援及び見守り活動

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、市民生活協同組合ならコープと高齢者への配食サービスに関し業務協力し、ならコープ夕食宅配事業と高齢者見守り活動とを相互に協力連携し、毎週木曜夕食宅配行う。

月 日	実施場所	実施内容
毎週木曜日	町内全域	食数延べ 1,016食(4年度)

●下市町交流センター（指定管理）

下市町より指定管理を受け、下市町交流センターの運営・管理行う。

年間	下市町交流センター	使用団体47団体(前年比+5団体) 使用者延べ7,470名(前年度比+2,359名)
----	-----------	---

●地域子育て支援センター（町受託事業）

子育て親子の交流の場を提供し交流促進行うと共に子育てに関する相談援助を行う。

月～金 (年末年始祝日除く) 9時～17時	下市町交流センター	開館日数 242日 延べ699名 ・子育て親子の交流の場の提供と交流促進 ・子育てに関する相談、援助(保育士による相談・子育てサークル活動支援) ・英語で遊ぼう、親子で遊ぼう、プール遊び、おさがり交換会の実施 ・ふれあい子育てサロン実施(おはなし・レクリエーション・クリスマス会・リズム遊び) ・来館スタンプカード配布、プラレールの日・おままごとの日開催
-----------------------------	-----------	--

●交流事業（町受託事業）

子どもから高齢者まで多世代にわたる交流と憩いの場を提供し、交流の促進を図る。

月～金 (年末年始 祝日除く) 9時～17時	下市町交流センター	開館日数 242日 延べ214名 ・子どもから高齢者まで多世代にわたる交流と憩いの場 ・子どもたちと遊びを通した仲間づくり(イベントに関しては新型コロナウイルス感染症予防の為中止)
------------------------------	-----------	--

●ふれあいのまちづくり推進事業（町受託事業）

ボランティア活動の展開支援や参加促進などボランティア活動の推進を図る。

随時	町内全域	・ボランティア活動の振興(ボランティア団体への助成及びボランティア活動保険への加入) ・団体、個人ボランティアとの連携(英語で遊ぼう、ふれあい広場※中止) ・機関紙の発行
----	------	---

●家族介護者交流事業(町受託事業)

介護者が介護から離れリフレッシュしながら、介護者同士の交流と情報交換、介護者の心身の負担軽減及び孤立を防ぐ事を目的に開催する。

月 日	実施場所	実施内容
年間4回	町交流センター他	介護者他延べ46名 (6/14・8/23・10/20・1/20開催)

●介護教室事業(町受託事業)

介護についての知識や技術を学ぶ機会として、また専門職に相談する機会として介護教室を行う。

年間3回	下市町交流センター	参加者延べ 20名 (7/2・9/10・11/5開催) 介護疲れ解消のセルフケア講座、栄養学、口腔ケア講習会
------	-----------	---

●認知症施策推進事業(町受託事業)

認知症の方やその家族、専門職、地域住民など誰もが気軽に参加でき、交流や情報交換を行える「集いの場」認知症になっても気負うことなく出かけられる「地域の居場所」を作り、地域での助け合いが生まれる事を目指し認知症カフェ運営や出張カフェ、本人ミーティングを開催。

年間11回	下市町交流センター	・たんぼぼカフェ(認知症カフェ) 延べ参加者316名(前年比+66名) 主に毎月第2金曜日(5～3月) 認知症の人やその家族、専門職、地域住民など誰もが気軽に参加でき、交流や情報交換を行う事が出来る「集いの場」認知症になっても気負うことなく出かけられる「地域の居場所」を作り、地域での助け合いが生まれる事を目指し開催。
年間14回	町内14カ所	・出張カフェ 延べ参加者183名(+84名) 脳トレ、季節の工作、茶話会等を実施。
年間2回	下市町交流センター	・本人ミーティング 15名(前年比+9名) 認知症の当事者と家族が参加し、ゆったりとした雰囲気の中で、自分の思いを語る事が出来る場。本人の声を起点とした認知症地域支援体制づくりを目指し開催。

●生活支援体制整備事業(町受託事業)

生活支援コーディネーターを配置し、地域ニーズの的確な把握と課題解決に向けて身近な地域での支え合いの仕組みづくりを推進し、地域住民や関係機関との協働による取り組みを進める。

随時	町内全域	・アウトリーチやネットワーク拡充 (独居高齢者のニーズ調査、介護・健康・暮らしなんでも相談所との連携、各団体との連携、生活支援サポーター連絡会の開催、サロン活動支援等) ・地域に不足するサービスの創出及びニーズとサービスのマッチング (生活支援サービス運営、高齢者等の食事支援及び見守り、男性の居場所づくり、買い物ツアーの試行的運用、こども食堂立ち上げ支援等) ・各種研修会・情報交換会への参加及び開催
----	------	---

介護サービス部門

●訪問介護事業

訪問介護員により要介護者(要介護1～5)の居宅にて入浴・排泄・食事等の身体介護、生活援助業務及び、要支援者(要支援1・2)及びチェックリスト該当者の自宅にて介護状態の悪化防止のための支援を行う。

月 日	実施場所	実施内容
随時	町内全域	・ホームヘルパーによる身体介護及び生活支援業務 常勤ヘルパー2名 登録ヘルパー6名 利用者数 年間延べ 487名(月平均 40.5名) 前年比 +19名(月平均+1.5名)

●障害者福祉サービス事業

居宅において、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助を行う。

随時	町内全域	・心身障害者に対する家事及び介護等の日常生活支援業務 利用者数 年間延べ 24名(月平均 2名) 前年比 -1名(月平均±0名)
----	------	---

●居宅介護支援事業

介護支援専門員による要介護認定者のケアプラン作成と各関係機関との連絡調整及び、介護支援専門員が要介護認定のための調査業務を行う。

随時	町内全域	・要介護者のケアプラン作成と各関係機関との連絡調整 介護支援専門員2名 利用者数 年間延べ 664名(月平均55.3名) 前年比 -7名(月平均-0.6名) ・受託事業 ・要介護認定訪問調査 年間利用数 52名 前年比+27名 ・介護予防支援 年間利用数 156名 前年比-5名
----	------	--